

# ハンドボール No. 39

Japan  
Handball  
Association

- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合  
番号 **北電B-男13**

年月日 2021 年 8 月 16 日 (月)

大会名 令和3年度全国高等学校総合体育大会 北陸地区大会第72回日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 公式記録用紙

A	法政大学第二高等学校						三重県立四日市工業高等学校						B	
福井県	永平寺町		北陸電力福井体育館フレアBコート						1回戦					
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B
7m得点/総数	3/4		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数	4/4		
	1	2 後半	3	1	2 後半	3								
	1610	2412		0901	0618									

No.	法政第二高校	G	W	2	D	DR	No.	四日市工業高校	G	W	2	D	DR
1	新井 大翼						1	金五 大祐					
2	守屋 雄司	4	1	2			2	小林 魁					
3	石井 優希也	10					3	田仲 航大	4	2			
4	齋藤 蓮	7					4	小林 拓斗					
5	竹中 柊翔	7					5	諏訪 翔磨	4				
6	中里 聡太	1					6	酒井 啓真	6				
7	藤井 雄太	5					7	山田 陽太	2				
8	増井 幸太郎						8	栗田 哲太	5				
9	森川 勇哉						9	永井 斗暉					
10	竹中 友哉	1					10	山口 雄希	3				
11	杉山 博史	2					11	高原 弦	2				
12	鈴木 大翔						12	山下 敦也					
13	富永 武都	1					13	中山 雄市良	2				
14	和田 波伶						14	水口 稟傑	4				
役員A	寄 修平						役員A	織田 洋輔					
役員B	阿部 直人						役員B	千種 雄介					
役員C	小寺 勝矢						役員C	中村 俊輔					
役員D							役員D						

A	寄 修平	チーム役員A署名	織田 洋輔	B
---	------	----------	-------	---

レフイー	駒谷 研志	波多野 祐介	駒谷 研志	波多野 祐介
T D	坂口 毅司	半田 有完	坂口 毅司	半田 有完
M O				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



# ハンドボール NO.41

令和3年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2021年 8月 16日 月 曜
会場	北陸電力福井体育館フレア Bコート
種別	男子
回戦	1回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	後半	総得点	チーム名
38	法政二高	38	17-10	32	32	四工
			後半			
			21-22			
第1延長	—	—	第2延長	—	7MC	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	法政スローオフでスタート。互いに気迫のこもったDFとGKの堅守で幕が明けた。四日市は7人攻撃を仕掛けるが、パスが乱れ法政のエンプティゴール(EG)が初得点となる。5分四日市③田伸が退場となったのを機に、法政が7mT、速攻で2連取、3-0とリードする。その後も四日市は7人攻撃を仕掛けるが、法政はプレスDFとGK①新井の堅守でゴールを許さず、EGなどで加点し、10分には7-1とリードを拡げる。四日市は戦術を6人攻撃に戻し立て直しを図るが、法政の攻撃的な4-2DFとGK新井の堅守を崩すことが出来ず、逆に法政は速攻を中心に確実に加点して行く。18分過ぎから四日市はパスからリズムを作り追い上げるが、法政も譲らず互いに点を取り合い、17-10法政リードで折り返す。
	後半	後半は法政④斎藤の速攻、サイドシュートで2連取しリードを拡げる。四日市も③田伸のパス回しから展開するが、法政DFを崩せず、逆に速攻などで失点し8分、24-13とさらにリードが拡がる。8分法政の7mTを四日市GK①金五が好セーブ。その後も連続セーブでチームを鼓舞し、これに呼応した⑩水口、⑨栗田の連取で25-16と追い上げる。中盤、四日市も4-2プレスDFからパスカットで攻撃チャンスを作るが、ミスなどで活かせず、20分32-20法政リードのまま試合が進む。その後、四日市はパスカットやGK⑫山下の好セーブから4連取し追い上げる。23分法政②守屋の退場・7mTを四日市⑥酒井が確実に決め、追い上げを図る。四日市はEG、速攻などで加点するも前半のリードを活かした法政が38-32で勝利した。

記入者 安藤功規